

船舶事故調査報告書

平成28年5月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成27年12月20日 10時35分ごろ
発生場所	香川県小豆島町地蔵埼南方沖 地蔵埼灯台から真方位221° 340m付近 (概位 北緯34° 24.8′ 東経134° 14.0′)
事故の概要	プレジャーボートシーホース-IIは、南東進中、また、プレジャーボート操丸は、漂流中、両船が衝突した。 シーホース-IIは、船首部に擦過傷を生じ、また、操丸は、左舷中央部に破口を生じた。
事故調査の経過	平成27年12月24日、調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート シーホース-II、5トン未満（長さ6.73m） 280-34455香川、個人所有 B プレジャーボート 操丸、5トン未満（長さ6.65m） 280-19223香川、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、二級小型・特殊・特定 B 船長B、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	A 船首部に擦過傷 B 左舷中央部に破口
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東南東、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期、潮流 南西流約1ノット
事故の経過	船長Aは、操舵スタンド後方で手動操舵により操船に当たり、左舷船首方に視認していた漂流中のプレジャーボートを通じたので、船首方に他船はいないものと思い、右舷方にいた約50隻の釣り船を見て航行していた。 船長Bは、B船に接近する他船がいれば、漂流しているB船を避けてくれるものと思い、船首を北東方に向けて南西方向に流れる潮流に乗り、右舷中央部で椅子に腰を掛けて右舷方向を見ながら流し釣りを行っていた。
分析	A船は、船長Aが、船首方に他船はいないものと思い、船首方の見張りを行っていなかったことから、漂流しているB船に気付かなかったものと考えられる。 B船は、船長Bが、B船に接近する他船が漂流しているB船を避け

	てくれるものと思い、周囲の見張りを行っていなかったことから、A船に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、A船が南東進中、B船が流し釣りをして漂泊中、A船の船長Aが船首方の見張りを行っておらず、また、B船の船長Bが周囲の見張りを行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常時適切な見張りを行うこと。